

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	自然豊かな相賀の元気事業
対象地域	三重県南伊勢町相賀浦区
対象地域の概要	  【位置図】 【相賀ニワ浜】 地区には、就業と場となるような事業所はなく、多くの住民が近隣の伊勢市、志摩市などに通勤している状況にある。町の基幹産業である水産業に従事する者も年々高齢化が進み、また、後継者問題など深刻な状況となっている。
提案内容の概要	過疎地域に指定されている南伊勢町において、若者の流出を食い止め、魅力ある雇用の場を確保するためには、町の基幹産業である水産業の活性化を図る必要があることから、地域の特性を生かした総合的な振興を図ることが必要です。 こうしたことから、地域資源を生かした日本一の朝市を開催し、地域ビジネスのチャンスを生み出すとともに、地元食材の伊勢えびを生かした既存施設を利用した「料理小屋」の開設や「タコ籠オーナー制度」の実施により、都市等の交流人口の拡大を目指し、地域の活性化を図る。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	平成20年においては、三重県の集落機能再生「きっかけづくり」推進事業を実施し、東京農工大学大学院の福井隆客員教授の指導で、相賀浦区全体として、地域住民が自らの地域を知り、未来に向かって考え、地域活性化のためのアイデアを数多く発掘したところです。 その中から、これからの人口減少、高齢化社会に対応し、地域の活性化を図る取組を具現化し実践していくため、地域の資源を生かした「①日本一の朝市」、「②日本一のえび網料理小屋」、「③タコ籠オーナー制度」の取組を進めることになりました。
(2) 活動内容の案	活動① : 日本一の朝市 内容 : 地域で獲れた魚、野菜などの食材のほか地元商店も生活必需品を供給できる仕組みを構築し、地域コミュニティの維持活動を図るとともに都市住民との交流の場をつくる。特に県内随一の漁獲量を誇る地域としてのブランド化を図り、日本一の朝市を開催する  【朝市予定場所（魚市場の一角）】 活動② : 日本一のえび網料理小屋 内容 : 既存の浜小屋をできる限り地元の材料と人足でえび網料理小屋に改修し、昔から伝わる漁法「えび網漁」で獲れた伊勢えびを網から獲る漁業体験や地元料理「えび網料理」を提供する。

	活動③：タコ簗オーナー制度 内容： 地元の漁師が使っている、タコ漁のためのタコ簗をオーナー制度にする。オーナーになると漁場へのタコ簗の仕掛けから漁獲などの漁業体験ができるほか、獲れたタコの料理を味わうことができる。また、干タコなどの産地直送の仕組みもつくる。
応募団体名	相賀浦区
リンク	
部局／担当者名	村田 春喜
連絡先	0599-64-2300
推薦市町村名	南伊勢町